

企業価値向上を目指して

経営計画「Mission2030」2年目となる2024年度の決算は、事業環境の変化の影響と、米国クロロプレン事業の不振により計画未達（最終赤字）となりました。2025年度は「4つの収益課題」への対応を進めるとともに、経営計画「Mission2030」で掲げる成長分野の戦略強化と目標の見直しを進める予定です。資本コストや株価を意識した経営が求められる中、企業価値向上に向けて、キャッシュ創出力の強化、将来の成長率向上、資本コストの最小化に取り組み、株主・投資家をはじめとするステークホルダーの期待に応えていきます。



目指す事業ポートフォリオ

デンカは、企業価値の向上に向けて、以下の3つの柱を中心に、全社のおよび事業別の取り組みを強化していきます。

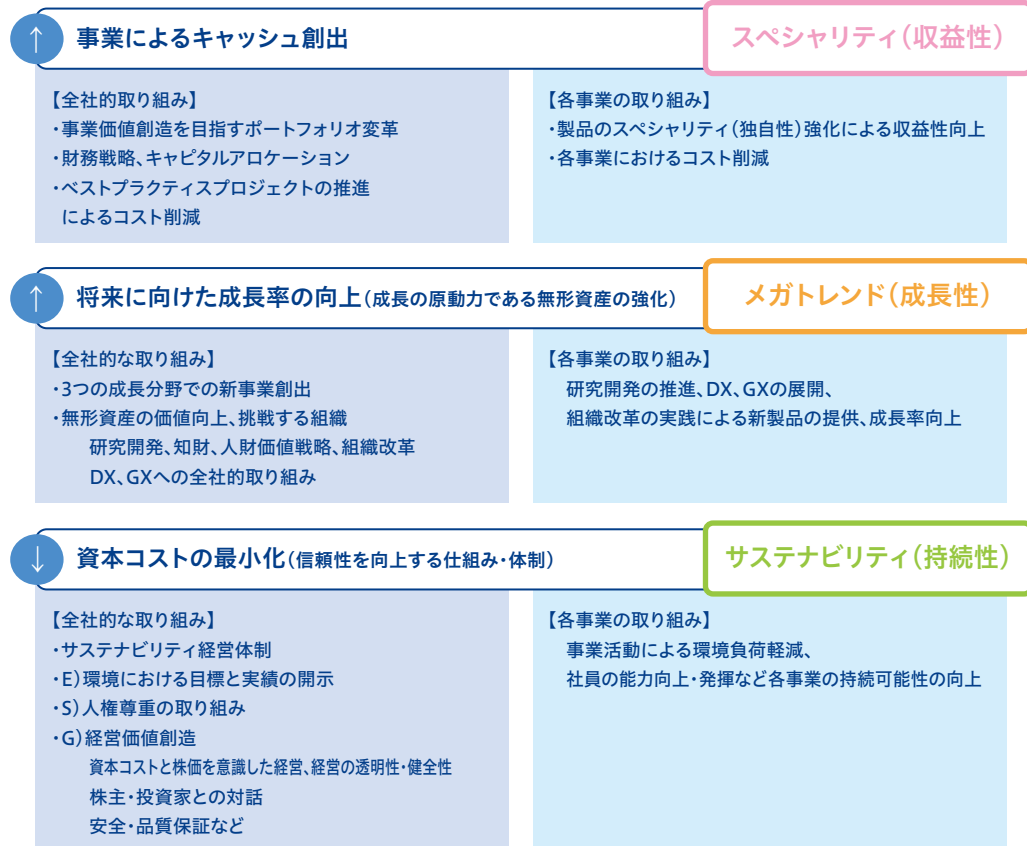
①事業によるキャッシュ創出:事業活動を通じて安定的な収益を確保します。

②将来に向けた成長率の向上:成長の原動力となる技術力・知財・人財・ブランドなど無形資産を強化します。

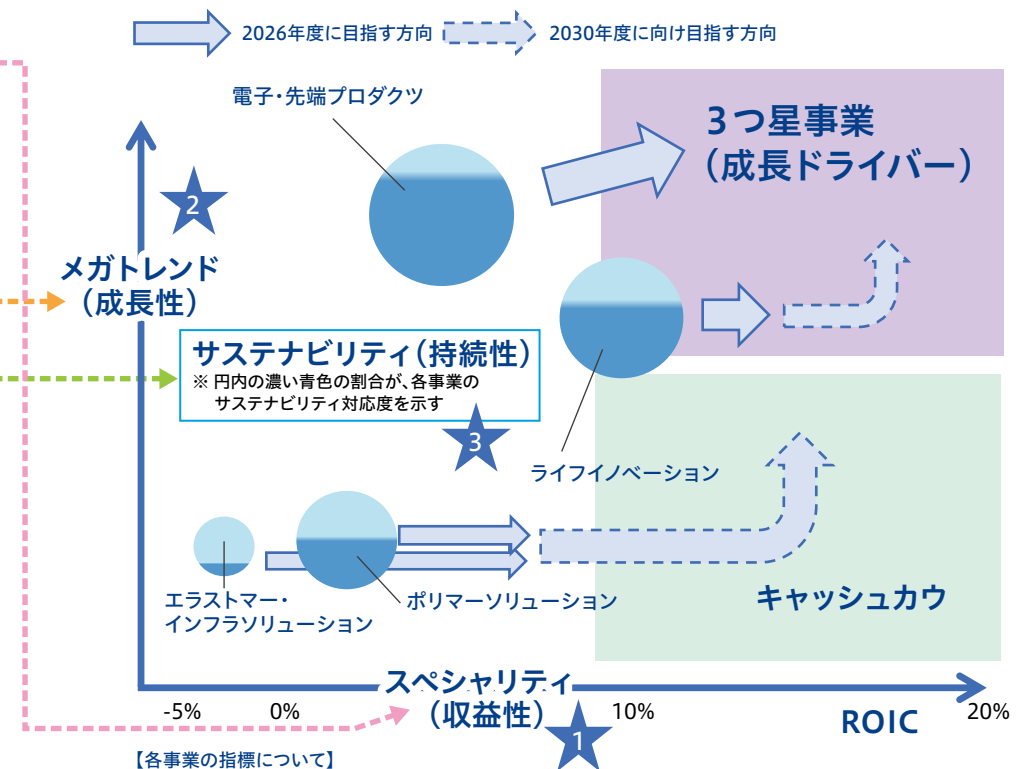
③資本コストの最小化:信頼性の高い組織体制を整え、効率的な経営を実現します。

全社的な取り組みとしては、成長分野に対応した新事業の創出、経営基盤の強化、サステナビリティ経営の推進を進めます。各事業では、「スペシャリティ」「メガトレンド」「サステナビリティ」の3要素を備えた“3つ星事業”を目指し、短期・中長期の両面からの取り組みを進めていきます。

企業価値の向上



目指す事業ポートフォリオ



【各事業の指標について】

- 1) スペシャリティ:各事業において必要な効率化を進めることを前提に、デンカの独自性を活かした効果的な投資によって利益率向上を図る観点で、ROICを指標としています。
- 2) メガトレンド:3つの成長分野の取り込み度合いにより評価しています。
- 3) サステナビリティ:各事業の環境負荷、従業員の生産性を指標としています。